

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月18日

【評価実施概要】

事業所番号	0390500064
法人名	岩手環境保全株式会社
事業所名	IK介護 グループホーム スマイル
所在地	岩手県花巻市二枚橋第5地割360番地1 (電 話) 0198-30-2626

評価機関名	(財)岩手県長寿社会振興財団		
所在地	岩手県盛岡市本町通3丁目19-1 岩手県福祉総合相談センター3F		
訪問調査日	平成20年2月20日	評価確定日	3月18日

【情報提供票より】(20年1月25日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成) 19年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	11 人 常勤 9 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 8.5 人

(2)建物概要

建物構造	木 造り
	1 階建ての 1 階 ~ 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,500 円	その他の経費(月額)	650 円/1日	
敷 金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり	1,200 円		

(4)利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	- 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	- 名	要支援2	- 名		
年齢	平均 85.9 歳	最低	77 歳	最高	95 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	総合花巻病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>常勤職員と非常勤(夜勤専任)職員とのローテーションの中で夜勤2人体制をとっている。夜勤専任の非常勤職員も含め全職員の中で5名の職員が看護師の資格を有しており、医療面での安心感が持たれる。また隣接する関連施設のデイサービスの連携が非常に良くサービス展開が行われており、職員も認知症高齢者ケアの経験年数の比較的多い職員が占め一生懸命取り組んでいる様子がうかがえる。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>平成19年4月1日開設のため前回評価は実施なし。</p>
①	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>スタッフ全員で取り組んだ。基本的に利用者へのサービスの質の向上に資することを踏まえると共に、自らの学習に繋がるという意識のもとで取り組んでいる。</p>
②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>開設後1年に満たない事情もあり、会議の回数も少なく内容的にはグループホーム側からの現状報告が主たるものになっている。今後に向けて、開催回数、内容とも充実しようとする意欲と委員から活発な意見を求めると共に、それを運営に反映させることが重要である。またそれが、より一層 地域連携に向けての取り組みにも関わってくる。</p>
③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>あらゆる機会に家族の意見、苦情を把握しようと努めており、利用者個々に関すること及びグループホーム全体にかかわることについての的確に捉え、職員全員で問題を共有しながらケアや運営に反映している。</p>
④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域行事への参加とか地域のボランティアの受け入れなどを実践する中で地域との連携を進めてきた。また、自治会等との関係など、もっと明白なかたちで連携を強める取り組みを進め、工業地帯にホームが立地し、民家が周辺に少ないという点を克服するように努めている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年ホーム開設にあたって、スタッフみんなの話し合いによって“みんなと共に、ほほえみを、ゆったり楽しく手をつないで あなたを大切に、”の理念をつくりあげた。	<input type="radio"/>	地域の中でその人らしい生活をしていくという、地域に密着する立場が強調される文言が理念として求められる。そのことを職員全員で考え検討されることを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有する。みんなで創りあげたものであり、共有しているが、更に毎日の申し送り後、唱和することにより、意識的に共有の強化に努めている。また、理念の掲示もしている。	<input type="radio"/>	前項のように地域密着の考え方を踏まえることをして、今まで取り組んできた方法で理念の共有化とその実践に向けていくことを期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会等との関係は開設後日が浅いため明白になっていないが、今後の課題としているが、地域行事やボランティア登録などを通して結びつきを持っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフ全員が自己評価に取り組んだ。やっていることが自己満足では困る、という思いの元、基本的には利用者と考えると共に自分達も勉強することにもなり、改善するものは改善していく工夫をしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開設後1年も経過していない事情もあるが、会議開催回数が少なく、内容的にもホーム側からの現状報告が主たるものになっている。	<input type="radio"/>	会議開催回数、内容とも更に充実したものにしていくことに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者との行き来する機会は、現在のところ直接的にはあまり無いのが実情である。</p>	○	<p>市町村の担当者とは事業所の実情や取組みについて折に触れて知らせることで、市担当者との問題点を共有化しておくことに期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族への報告は面会等の機会、手紙及び電話で行っている。体調に関しては電話による場合が多い。金銭管理は個々の利用者について、その収支の状況を記帳し、領収書原本と合わせ、家族に確認いただく。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や介護計画の確認時あるいは作成時等に意見を求める。個人的な要望、ホーム全体に関する要望共にスタッフで検討しながら運営に反映する努力をしている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動等に関しては利用者へのダメージを防ぐため関連のデイサービスの職員の交流など馴染みの職員の支援を受けられるように配慮したい。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>利用者一人ひとりの支援のポイントを職員が出し合っで検討し合う取組みや、外部研修への参加とその内容の周知、伝達など内外の研修を組み合わせをすることによって職員を育てる工夫をしている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>花巻市東和町の「グループホームなごみ」とは全一日を通しての交流を行ない、互いの向上に努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	関連のデイサービスを利用しながら、場や雰囲気及び職員に馴染みながらグループホームでのサービス・支援に移行するようにしてきている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活、行動等利用者と職員は常に寄り添いながら、親切の心で支え合うことに努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の行動や表情から、その思いや意向を把握することに努め、そこから出てくる利用者一人ひとりのポイントを利用者本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の要望・意向を踏まえると共に利用者一人ひとりのポイントを職員が出し合って朝夕のカンファレンスでの積み上げを基にみんなで意見を反映したケアプランを作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプラン見直しは原則3ヶ月ごとに行っているが、利用者の状況に応じて、現状に即した見直しはしている。この場合も利用者一人ひとりの意向等のポイントが役立っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	花巻市東和地区地域研修会や花巻地区学び学園などで、「認知症」についての講演を受ける。常に開かれた事業所を目指している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医での受診の場合、原則家族が付き添うことになっている。かかりつけ医には個人健康チェック票を提供しており、受診結果については家族から聞き取りしている。家族の要望があれば、関連事業の介護タクシーの利用もある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に、看取り看護を行うことを利用者と家族には、話すと共に「重度化及び看取りに関する指針」を示しており、ドクターは湯本診療所をお願いしている。このことは職員全員が共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の取扱いに留意すると共に、利用者一人ひとりの自尊心を傷つけないよう職員間での話し合いをしている。特に、入浴時、トイレ時においてのプライバシー保持には留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望に沿った支援に努めている。とりわけ、利用者のペースを大切に日常生活ができるような工夫をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	年齢に合ったような食事内容、食材の工夫や利用者と職員と一緒に、しかも無理なく楽しく準備や片づけをする。利用者の食べ方の様子などから食べたいものを察知したり、盛り合わせの工夫や、たまに外食するなど変化も持たせている。また、毎食後の口腔ケアに力を入れている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、ほとんどの利用者が介助と見守りが必要である。毎日13:30～16:00の時間帯の中で週2～3回のローテーションの中で自由に入浴できるようになっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりが得意なことを基に役割分担をしている。例えば、勝手(台所)での仕事、モップでの掃除など、楽しみごとでは、カラオケ、編物、毎日短時間ではあるがレクリエーションを取り入れており、職員が認知症向けレクリエーションのインストラクターの資格を持っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者一人ひとりの能力に応じ、施設の敷地内を散歩する支援に努めており、無理をしない程度で戸外に出るようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜20時頃から朝7時頃までは鍵はかける。セコムを利用している。日中は鍵はかけず、利用者の出入りを注意して見守ることにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に対する対策は、きっちり決められており、それに基づく訓練も実施(H19年9月13日)している。消防からの協力もあって見廻りもなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりについて食事量、水分摂取量、排泄物のチェックを行ない、食事時やおやつ時に食事量や、水分量の確保ができるよう支援すると共に、デイサービスの栄養士に協力を得て栄養バランスのチェックを行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木目もきれいな杉材の太い柱や梁は、高い天井と天窓からの自然光と共に心を和らげる。広い共用空間には小上がりの12畳ほどの畳敷きの間があり、折しもひな壇が飾られ季節感をかもし出していた。台所、食堂、浴室、トイレなど清潔である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた日用品や利用者の好みのものが居室に持ち込まれ、利用者が安心して過ごせる自分の部屋を確保出来ている。		